

かわ

表紙の写真「諏訪川」

熊本県玉名郡南関町を源流とし、大牟田市内を流れ有明海に注ぐ。市内で唯一水道水の取水河川でもある。熊本県では「関川」と呼ばれている。



かわ | Vol.207 | 2010.10.1 | 福岡県河川協会

おめでとうございます!

河川愛護絵画コンクール&河川功労者

7月27日の当協会通常総会に於いて、河川愛護絵画コンクール入賞者及び河川功労者の表彰を行いました。絵画コンクール入賞者は本誌掲載のとおり、参加校は以下のとおりです。なお、参加校へは、サッカーボール等を贈らせていただきます。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| ■久留米市立 田主丸小学校 | ■直方市立 新入小学校 | ■苅田町立 白川小学校 |
| ■柳川市立 柳河小学校 | ■〃 直方東小学校 | ■〃 南原小学校 |
| ■〃 矢留小学校 | ■吉富町立 吉富小学校 | ■みやこ町立 黒田小学校 |
| ■〃 東宮永小学校 | ■行橋市立 泉小学校 | ■〃 久保小学校 |
| ■〃 昭代第二小学校 | ■〃 仲津小学校 | ■〃 諫山小学校 |
| ■〃 ニッ河小学校 | ■〃 行橋南小学校 | ■〃 豊津小学校 |
| ■〃 矢ヶ部小学校 | ■〃 行橋小学校 | ■〃 節丸小学校 |
| ■〃 中島小学校 | ■〃 今川小学校 | ■〃 祓郷小学校 |
| ■〃 大和小学校 | ■〃 延永小学校 | ■〃 柳瀬小学校 |
| ■みやま市立 下庄小学校 | ■〃 稗田小学校 | ■香春町立 採銅所小学校 |
| ■〃 竹海小学校 | ■苅田町立 与原小学校 | ■赤村立 赤小学校 |
| ■直方市立 植木小学校 | ■〃 苅田小学校 | |
| ■〃 感田小学校 | ■〃 片島小学校 | |

また河川功労者表彰を受けられた団体及び個人は次のとおりです。

福岡県知事表彰

- 唐戸町堀川を守る会 (中間市)
- 石原町東谷川をきれいにする会 (北九州小倉南区)

福岡県河川協会 会長表彰

- 東26区自治会原田川愛護会 (北九州若松区)
- 長野本町自治会 (北九州小倉南区)
- 穴生第二自治区会宮川を守る会 (北九州八幡西区)
- 境 頼明 (みやま市) ■前原 任 (みやま市)



表彰式の様子

「ふくおか川の大掃除」についてのお知らせ

「ふくおか川の大掃除」は、平成17年度より、毎年10月を実施月間、第4日曜日(本年度は10月24日)を統一実施日として福岡県が呼びかけている河川一斉清掃活動です。

河川愛護活動を「知ってもらい、体験してもらい、一体となっていく」ということを活動目的として、県内各地の河川愛護団体を中心に、県・NPO法人・市町村が連携して、一斉清掃活動に取り組めます。



昨年の清掃活動の様子 (星野川：八女市上層町北川内)



開会式 (ホテルと石橋の里公園)

問い合わせ先：福岡県土整備部河川課管理係 (TEL.092-643-3667) または 県土整備事務所 (支所) ホームページ：福岡県土整備部河川課 <http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp>



協会からのお知らせ

- 河川事業現地研修
 - 日時：10月6日(水)～7日(木)
 - 場所：宮城県
 - 主催：福岡県河川協会
- 九州地方治水大会
 - 日時：11月5日(金)
 - 場所：大分県大分市
 - 主催：全国治水期成同盟会連合会等
- 治水事業促進全国大会
 - 日時：11月29日(月)
 - 場所：東京都千代田区 砂防会館
 - 主催：全国治水期成同盟会連合会
- 福岡県災害復旧実務講習会 (第2回)
 - 日時：12月予定
 - 場所：福岡県建設技術情報センター
 - 主催：福岡県土整備部河川課・福岡県河川協会

編集後記

夏の初めの編集会議になりました。この号は7月末の通常総会で表彰された児童の皆さんの絵を中心に紙面づくりを行いました。元気で楽しい絵が一杯です。これからも川に関心と親しみを持つ人たちが多くなりますことを願いながら紙面づくりを行ってまいります。(猿渡)

◆STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県土整備部河川課内) 〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL:092-633-2826(直通) FAX:092-643-3669 企画 ㈱石田大成社

郷土ふるさと 福岡の河川を知る

わがまちのかわ

第 8 回 朝倉市筑後川・佐田川

朝倉市は福岡県のほぼ中央部に位置し、福岡市の南東約30km、久留米市の北東約20kmに位置し、東は大分県日田市に接しています。



朝倉市 水と緑が豊かなまち

市内を貫く国道386号線から南側は平野、北側は古処山や馬見山をはじめとする800~1,000m級の山々が連なり、この山地の中に福岡市など周辺地区への水資源供給の役割を担う江川ダム、寺内ダムを有している、水と緑が豊かなまちです。

平成18年3月20日に甘木市と朝倉町と杷木町の1市2町の合併により誕生し人口58,250人、面積は246.73km²であり県内4番目の広さを誇ります。「筑前の小京都」といわれる歴史的町並みを

残す秋月や堀川に導流された筑後川の水を揚水する三連水車、筑後川流域の原鶴温泉などの豊富な観光資源を通じた大都市圏との交流がすすんでおります。

また、黄金川では、清流にしか育たない淡水のり「スイゼンジノリ」を育ててきました。国内あちこちに散在した「スイゼンジノリ」も唯一この地域に残されており、当地の水が良質である証しとなっています。

筑後川沿いに広がる温泉郷

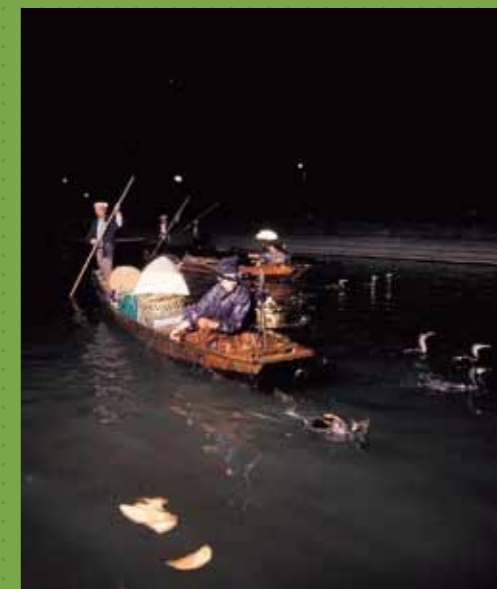


筑後川143キロの中流域にあたる朝倉市には、福岡県随一の湧出量を誇る温泉郷があります。その昔、傷ついた鶴が筑後川の川原で湯浴みをして傷を癒したことから、「原鶴温泉」と名付けられたそうです。福岡から約1時間の場所にあり、別名「博多の奥敷敷」とも言われています。それぞれの旅館やホテルが泉源をもち、成分もアルカリ性単純泉（石鹸と同じ役割を果たすため、皮膚表面の古い角質をふやけさせて落としやすくし、肌をきれいにします。）と単純硫黄泉（硫黄成分は、古い角質を落とし、さらに余分な皮脂を取り除く。角質層に含まれるメラニンも落とすので、しみが薄くなり肌が白くなっていく。）これに基づき、「ダブル美肌の湯」と銘うって、温泉そのものを売っています。筑後川を眼下に観る温泉郷としては、お湯のよさも抜群であるし、ロケーションも最高といえます。



筑後川の恵みに感謝した鵜飼い

全国で12箇所で行われていない「鵜飼い」が、ここ筑後川で行われています。毎年5月20日の鮎漁解禁にはじまり、10月15日までの間、毎夜（増水時はなし）、原鶴温泉を中心とした筑後川で、夏の風物詩として観光の目玉になっています。歴史を辿ると、古くは平城京跡から発掘された木筒の中に、原鶴の対岸である生葉郡（現在のうきは市）から朝廷に鮎を貢進したという木筒が二点見つかっています。もちろんこの鮎の漁法が鵜飼いによるものとは断言できませんが、筑後川で獲れたものには間違いなさそうです。江戸時代に書かれた「筑前国続風土記」の中に、筑後川の鵜飼いについて詳細に記されています。このように歴史的貴重な伝統漁法の鵜飼い漁を楽しんではいかがでしょうか。



佐田川

寺内ダム上流部を源流とする佐田川は、高木（たかき）の山あい流れ、梅雨前にはホタルが乱舞する清流として有名です。その、ホタルの飛び交う様子は、毎夜開かれる舞踏会のごとく華やかで、観光で訪れる人々の心を魅了しています。また、夏場は清流でたわむれる力強い子供たちの躍動、それを優しく包み込む自然の木々、ここに、自然豊かな朝倉の姿が映し出されています。



河川愛護のココロを育む
絵画コンクール
入賞発表

平成22年度

河川愛護

絵画コンクール

今年も、河川愛護月間（7月1日から7月31日）の行事の実施に当たり、河川愛護意識の高揚を図るために、小学校児童を対象とした河川愛護絵画コンクールの作品応募がありました。「わたしたちと川との関わり」をテーマに、児童が日頃親しんでいる川との関わりや、こうあってほしいなという願いをこめた作品が多く寄せられました。ここでは、特選の三名の作品、1等6名の作品と全入賞者を紹介します。また、来年度（平成23年）の河川愛護ポスターには、特選作品を採用予定です。



表彰式の様子

特選[中学年]

柳川市立
やかべ
矢ヶ部小学校〔3年〕
つるたれお
鶴田 怜生くん

ほくは川が大好きです。川に住む魚やほかの生き物も大好きです。おじいちゃんの家の近くの川には、フナやザリガニ、メダカ、コイなどたくさんの生き物がいて、ほくはあみとバケツを持って、お兄ちゃんといっしょにつかまえて行きます。

けれど、ほくたちがつかまえた生き物の中には「ぜつめつきぐしゅ」になっているものもいるようです。人間が水をよごしたり、生き物のすみかをこわしてしまったことで、その生き物の数がへったのだそうです。

ほくは、今いる魚がもつとふえ、いなくなってしまう生き物がもどってくるきれいな川になってほしいと思いこの絵をかきました。ゴミをひろったり、きたない水をながさないようにしたり、ほくにできることはなんでもしたいと思います。



【講評】 おそらく、柳川の水を落とした堀割で、一生懸命魚をすくっている人の姿ではないでしょうか。魚が跳ねてなかなか網ですくうことができず、汗をかきかきがんばっている姿が見事に表現できています。きっと思い出に残るような光景だったのでしょう。

特選[低学年]

ぼくのちかくの川

柳川市立
やかべ
矢ヶ部小学校〔2年〕
えしまあやと
江嶋 彩斗くん

ほくは、川でザリガニとりをしたことがあります。ちかくの川は、水が黒くてザリガニはいません。お母さんは、田んぼの川だからしょうがないと言うけれど、ほくは、水がとうめいで、ザリガニや魚がいっぱいいる川がいいです。

だからほくが、一ばんしたいと思ったことを絵に書きました。ともだちからみせてもらったザリガニと書かんでかいた本を思い出して書きました。ザリガニをながさないようにしっかりとつかまえているところと色々な色のザリガニを書きたいと思いました。ほくのいえのちかくの川でもザリガニがとれるようになります。

こんど、お父さんといっしょに川に行って色々な生きものをさがしに行きたいです。そしてザリガニやさかなをほくがつかまえます。



【講評】 ザリガニと「ほく」を中心にした、なんとも大胆な構図や色遣い!ザリガニを見つけた時の「ほく」のドキドキの表情や、今にも手が伸びてきそうな体の動き、ザリガニの燃えるような赤い色など、ダイナミックにいきいきと表現することができました。

特選[高学年]

かたしま
荻田町立片島小学校〔6年〕
まつかげゆうり
松蔭 勇利くん

ほくが住んでいる荻田町の片島は、山や河もあり、緑の多いところ。近くには、じょう土院川という川が流れていて、その上流にあるじょう土院地区はむかしからホタルがとんでいました。

ほくも見に行ったことがありますが、暗やみの中、とびまわるホタルはとてもきれいです。ほくはホタルを見た時の美しさにおどろいた様子を絵であらわしてみました。

しかし、今は前よりもホタルの数がへり、とぶ姿もあまり見られなくなったので、とても悲しいです。前のようにホタルがたくさんとぶ美しい景色が見られたらいいなと思っています。

【講評】 ホタルを見つけ、草の間からそおとのぞく「ほく」の表情を見ると、こちらまでワクワクしてくるようです。ていねいに描かれた下絵、バランスのよい構図、直接指を使って描かれた大小のホタルの光。感性と技能の調和のとれた素晴らしい作品です。



一等



直方市立新入小学校（1年）
下枝 洸翔くん



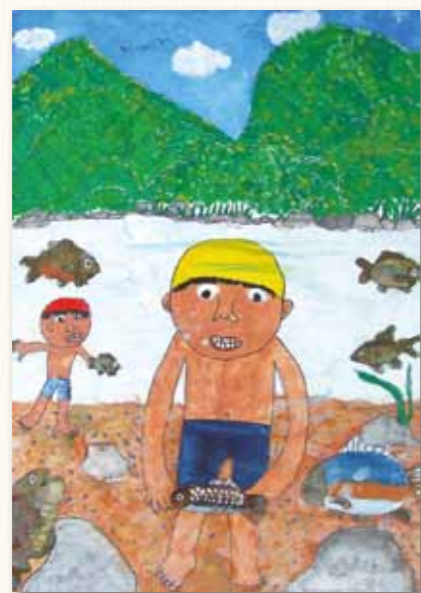
柳川市立矢ヶ部小学校（2年）
田中 一咲くん



柳川市立中島小学校（3年）
田中 麗美さん



直方市立新入小学校（4年）
渡邊 祐輝くん



苅田町立片島小学校（5年）
宮武 遼弥くん



みやこ町立祓郷小学校（6年）
城戸 津久夢くん

【全体講評】本年度の作品は、ゴミの問題、溪流の思い出、近くの川と自分との関わり、水の中の生物など、幅広いテーマで制作されていました。たくさんの応募があり、賞をつけるのはとても大変な作業でした。どれも「きれいな川が身近にあってほしい」という子ども達の願いが感じられましたが、とりわけ入賞した作品は、実際の自分の体験の中から感じたことを素直に表現できていました。また発達段階に応じて様々な工夫の跡も見ることができました。このコンクールを通して、河川愛護の取組がますます盛んになることを願っています。

福岡県教育庁教育振興部 義務教育課 指導主事 中島賢二

平成22年度 河川愛護絵画コンクール入賞者 (敬称略)

特選

江嶋 彩斗	2年	柳川市立矢ヶ部小学校
鶴田 怜生	3年	柳川市立矢ヶ部小学校
松蔭 勇利	6年	苅田町立片島小学校

一等

下枝 洸翔	1年	直方市立新入小学校
田中 一咲	2年	柳川市立矢ヶ部小学校
田中 麗美	3年	柳川市立中島小学校
渡邊 祐輝	4年	直方市立新入小学校
宮武 遼弥	5年	苅田町立片島小学校
城戸 津久夢	6年	みやこ町立祓郷小学校

二等

林 大貴	1年	久留米市立田主丸小学校
高見 駿乃介	1年	久留米市立田主丸小学校
宮崎 来美	2年	みやこ町立祓郷小学校
畑 睦	2年	みやこ町立祓郷小学校
野川 彩花	3年	苅田町立片島小学校
笠 那奈美	3年	柳川市立矢ヶ部小学校
林 耀大	4年	みやこ町立豊津小学校
種生 愛美	4年	みやこ町立黒田小学校
川本 隆太郎	5年	みやこ町立節丸小学校
田原 青空	5年	みやこ町立節丸小学校
井上 茉優	6年	苅田町立片島小学校
太田 百合子	6年	行橋市立泉小学校

三等

園田 万理亜	1年	直方市立新入小学校
有富 未羽	1年	みやこ町立久保小学校
橋本 青空	1年	みやこ町立久保小学校
乗富 康気	2年	柳川市立矢ヶ部小学校
深見 華月	2年	赤村立赤小学校
中原 啓之	2年	みやこ町立諫山小学校
田中 快史	3年	柳川市立中島小学校
平川 真菜	3年	柳川市立中島小学校
戸川 陽菜	3年	行橋市立行橋小学校
林 真美	4年	柳川市立矢ヶ部小学校
持永 希実	4年	みやこ町立諫山小学校
田上 光季	4年	苅田町立与原小学校
進 勇佑	5年	みやこ町立節丸小学校
白川 ちひろ	5年	みやこ町立節丸小学校
蔵森 航	5年	直方市立感田小学校
瓜生 佳己	6年	苅田町立片島小学校
長友 美樹	6年	苅田町立片島小学校
内山 愛華	6年	みやこ町立祓郷小学校

佳作

下川原 晴也	1年	みやこ町立久保小学校
宮崎 菜	1年	みやこ町立久保小学校
石本 温	1年	みやこ町立久保小学校

中野 美輝	1年	苅田町立苅田小学校
三好 那々弥	1年	苅田町立苅田小学校
岩田 脩之介	1年	苅田町立苅田小学校
麻生 詩音	1年	直方市立新入小学校
谷 紘太郎	1年	直方市立新入小学校
野田 莉花	1年	久留米市立田主丸小学校
浅野 圭吾	1年	久留米市立田主丸小学校
野口 瑠楓	2年	柳川市立矢ヶ部小学校
椛島 大翔	2年	柳川市立矢ヶ部小学校
有馬 美月	2年	みやこ町立諫山小学校
生永 美月	2年	みやこ町立諫山小学校
春本 蛍太	2年	みやこ町立柳瀬小学校
上野 空	2年	みやこ町立祓郷小学校
太田 礼奈	2年	苅田町立南原小学校
案納 和也	2年	直方市立植木小学校
原 百花	2年	赤村立赤小学校
柳 龍晟	2年	行橋市立稗田小学校
田中 陽向	3年	柳川市立中島小学校
黒田 梨子	3年	柳川市立中島小学校
石橋 宏太郎	3年	柳川市立矢留小学校
森山 興	3年	柳川市立矢留小学校
平野 帆玖士	3年	柳川市立矢留小学校
加来 浄	3年	行橋市立行橋小学校
網田 優衣	3年	行橋市立行橋小学校
春本 渚	3年	みやこ町立柳瀬小学校
春山 颯汰	3年	柳川市立矢ヶ部小学校
白石 仁美	3年	苅田町立片島小学校
田中 さくら	4年	柳川市立矢ヶ部小学校
小柳 詩菜	4年	柳川市立矢ヶ部小学校
石川 祐大	4年	みやこ町立豊津小学校
伊崎 悠也	4年	みやこ町立豊津小学校
木下 尚人	4年	みやこ町立黒田小学校
福元 遙希	4年	みやこ町立黒田小学校
小川 竜牙	4年	直方市立新入小学校
竹下 千尋	4年	みやこ町立柳瀬小学校
村田 康平	4年	苅田町立南原小学校
木庭 亜花梨	4年	みやま市立下庄小学校
荒木 知宙	5年	苅田町立苅田小学校
原口 蓮太郎	5年	苅田町立苅田小学校
辻 将弘	5年	苅田町立片島小学校
城戸 麗羅	5年	直方市立感田小学校
西岡 秀美	5年	行橋市立泉小学校
城戸 美穂	5年	みやこ町立節丸小学校
山本 美澗	5年	みやこ町立豊津小学校
石山 雄大	5年	直方市立植木小学校
小野 海利	5年	吉富町立吉富小学校
工藤 佑介	5年	吉富町立吉富小学校
神崎 百合	6年	みやこ町立祓郷小学校
田淵 未裕	6年	みやこ町立祓郷小学校
倉本 和哉	6年	苅田町立片島小学校
渡辺 匠	6年	行橋市立今川小学校
築城 詠子	6年	行橋市立泉小学校
盛澤 さつき	6年	行橋市立泉小学校
湯浅 雅貴	6年	柳川市立二ッ河小学校
富永 明日香	6年	みやこ町立節丸小学校
松川 美空	6年	みやこ町立節丸小学校
八木 晴太郎	6年	苅田町立苅田小学校

SYMPOSIUM REPORT

第15回 水シンポジウム in ふくおか 開催

- メインテーマ / 「過去から未来へ 水・人のつながり 福岡からの発信」
- 開催日・会場 / 8月3日(火) シンポジウム 福岡大学
8月4日(水) 現地見学会 筑後川の治水事業の歴史と近代遺産を巡るツアー
水と共に歩む、福岡都市圏施設見学ツアー

開催趣旨

本シンポジウムは、水が自然や人に与えるさまざまな恩恵と諸問題について、市民・企業・学会・行政が幅広く討議や意見交換を行い、それぞれの役割を明確にしつつ連携を深めることにより、「水と人との好ましい関係」を全国に発信することを目的としています。

福岡県には、日本の三大暴れ川の一つである筑後川をはじめ、過去から多くの治水事業により川との共存が生まれた歴史があります。その一方、生活に欠かせない飲み水や、農業用水については、過去から渇水のたびに絶大な水争いもありました。

そのような状況において、県内に2つの政令指定都市を抱えるに至るには、より良い生活基盤を作るため、先人の叡智を結集した結果であると言えます。

しかし、近年は地球温暖化が要因と考えられる気候変動により、多雨・少雨の傾向が顕著となり、各地で集中豪雨による浸水被害に見舞われています。平成15年は、集中豪雨により博多駅を中心とした福岡市や飯塚市などで、そして平成21年は、中国・九州北部豪雨により、再び福岡市などが浸水被害に見舞われています。

また、渇水状況も続いており、福岡県内では平成6年の大渇水など、各地で毎年のように渇水被害が発生しています。

気候変動による影響が続くと考えられている中、福岡から、「水との共存」、「自然との共存」、「流域を越えた人のつながり」について、過去から学び、未来を考え、どのように「ふくおか」を発展させていくかを考えていきます。

シンポジウム



中川委員長による開会挨拶



竹中氏による日本水フォーラム活動報告



沖氏による特別講演「地球をめぐる水と水をめぐる人々」



全体会議

竹中氏による日本水フォーラム活動発表に始まり、沖氏による特別講演、水環境・治水・利水の3分科会に分かれてのディスカッションを経て、全体会議により全国へ提言「亜熱帯化しつつある九州・福岡から、災害や渇水に強く、健全な水環境や生態系を保全できる社会システムづくりを始めよう」を発信しました。



全国へ発信する提言



◆ 第1分科会(水環境)
河川流域に関わり合う各主体が、生態系サービスなどの共有のものとさして情報を共有し、よりよい河川環境を創造していきたい。



◆ 第2分科会(治水)
地域を知り、ご近所との良い人間関係(信頼関係)を築き、勇気を持って早めに逃げる(勇気ある臆病者)



◆ 第3分科会(利水)
筑後川の恵みに感謝し、お互いに発展していけるよう、なお一層交流・連携を深めていきたい。

市民団体・小学校等による活動発表



県内で活動している水と関わりのある市民団体・小学校等から活動の趣旨と活動状況などを3会場に分かれて発表をしてもらいました。

●発表団体(敬称略、順不同)
久留米市立北野小学校、龍王・山・里・川の会~建花寺川を考える~、岡垣町立戸切小学校、財団法人オイスカ熊本県支部、NPO法人遠賀川流域住民の会、嘉麻市立宮野小学校、直方川づくり交流会、みやま市立山川東部小学校、糸島市よか志摩フォーラム実行委員会、堀川再生の会・五平太、NPO法人ふくおか湿地保全研究会、名島公民館こどもひろば、和白干潟保全のつどい、苅田町立馬場小学校、NPO法人筑後川流域連携倶楽部、NPO法人南畑ダム貯水する会

打ち水



打ち水開始



打ち水で涼しくなりました

シンポジウム終了後、福岡大学のサッカーグラウンドで打ち水を行いました。曇り空で生憎の天気でしたが、皆で水を撒き打ち水の効果を体感しました。

現地見学会



昇開橋



船上より施設見学



筑後大堰



海水淡水化センター



福岡ヤフードーム 雨水利用施設



九州国立博物館 雨水利用施設

2日目の8月4日は、①「筑後川の治水事業の歴史と近代遺産を巡るツアー」と②「水と共に歩む、福岡都市圏施設見学ツアー」の2コースに分かれて水に関する現地見学会に行きました。①コースでは、デ・レーケ堤防・昇開橋・捷水路・水天宮・筑後川防災施設くるめハウスを②コースでは海水淡水化センター・福岡ヤフードーム・九州国立博物館を巡り、日頃見ることのできない施設などを見学しました。

ふくおかの 身近な

かわと さかな を知ろう!!

鬼倉 徳雄



アカザ/背ビレや胸ビレに鋭い棘があり、刺されると痛さのあまり、「あいたたたあ」と思わず手を振ってしまうことから「手々振り」と呼ばれています。

No. 12

痛～あいい川魚、その名も

「手々振り」

これまでいろいろな川で魚類相調査を行ってきましたが、その中でいつも苦労させられてきた魚に、アカザという魚がいます。夜行性の魚で、昼間は石や岩の下に潜り込んでいます。そのため、この魚を捕まえるには、結構大きな石をひっくり返して下流側に構えた網に追い込まなくてはなりません。その石をひっくり返す作業がまずしんどい。とにかく、大きい石を裏返す必要があるのですが、アラフォーの私の腰はいつも悲鳴をあげます。そして、石をひっくり返したとき、アカザが飛び出してきて、網を構えている下流側ではなく、上流側へ逃亡、なんてこともしばしば。そして、肉体と精神が悲鳴をあげるのが先か、アカザが捕れるのが先か…。そのため、アカザが採れなかった時、本当にアカザが分布していないのか、疑問が残ります。アカザは我々の調査の魚類相データの信憑性の足を引っ張る唯一の存在といってもよいかもしれません。

このように、かなり苦労しないと採れないため、一般の人々に知られていないのかというと、決してそうではありません。アカザが棲んでいる川の周辺で魚採りをして遊んだことがある年配の方々にアカザのことを聞くと、結構ご存じなケースが多いです。「体が赤くて、ナマズっぽい体形だけど、ナマズより小さくてヒレに棘がある魚、知りませんか?」と質問すると、必ず「ああ、知ってる、知ってる。あの痛～い奴やろ。この変じゃ、テテブリって呼んどるんよ」とおっしゃいます。テテブリは恐らく、「手々振り」。この

川魚は海にいるゴンズイと同じ分類群です(ナマズの仲間)。背ビレや胸ビレに鋭い棘があり、刺されるととにかく痛い。痛さのあまり、「あいたたたあ」と思わず手を振ってしまうので、「手々振り」と呼ばれているのでしょう。ちなみに、私はゴンズイにもこの「手々振り」にも刺されたことがあります。ゴンズイの方がはるかに痛いです。なにせ、ゴンズイは毒もっていますので、刺されると患部がしばらく腫れてしびれます。「手々振り」の場合、幹部が腫れたり、しびれたりしませんでしたので、毒がないか、毒の濃度が低いか、あるいは私が野人4号だから???

福岡に生息する川魚で他に刺す魚はアリアケギバチやギギ



アリアケギバチ



ギギ

ギで、いずれも「手々振り」と同じ分類群のナマズの仲間です。これらの2種に私は刺されたことがありませんので、どの程度の痛さかは分かりませんが…。現地で聞き取り調査を行うと、アリアケギバチやギギとアカザを混同されるケースがありますが、そもそも体の色が違ってアカザはとにかく赤い!川魚で全身が赤い魚はこの「アカザ=手々振り」しかおきませんので、体色をご確認ください。また、採集される場所もやや異なっていて、アリアケギバチやギギよりも上流に棲んでいます。もちろん、私のように様々な場所で魚採りをしていると、アカザとアリアケギバチの両方を同じ場所で捕まえたといったこともあります。

さて、この「アカザ=手々振り」ですが、東北地方から九州地方まで分布するとされ、福岡県でも北部、南部、東部のいずれのエリアでも姿を見ることができます。ただ、大きい水系を好むようで、博多湾に流入する河川では那珂川にしか生息していません。「採れにくい」だけでなく、生息する水系が限られていることも、なかなか姿を見かけない要因と言えます。しかも、危機的状況に直面している希少な川魚でもあります。環境省レッドリストでは、絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。比較的上流の方を好む傾向



那珂川町内を流れる那珂川

にあり、ダム建設が大きく影響しているようで…。今後、新たにダムを建設する場合には、絶滅危惧種アカザが分布するかどうか、そして、分布する場合は可能な限り配慮する姿勢が必要だと考えます。

さて、採れにくいけれども、身近な痛～あいい「手々振り」。生態があまり知られておりませんでした。少しずつ明らかになり始めました。私の研究室に所属する大学院生がアカザの卵を発見!大きな礫の裏に卵の塊を産みつけておりました。また、驚いたことに、夜間、防水の懐中電灯を照らしながら水中を観察すると、たくさんのアカザが悠々自適に泳いでいます。アカザに会いたいみなさん!夏の夜にでも、川の中をそっと覗いてみてはいかがでしょうか。

鬼倉 徳雄 (おにくらのりお)

- 九州大学大学院農学研究院・助教
 - 日本水環境学会九州支部・評議委員
 - 日本魚類学会自然保護委員会・希少魚類部会委員
- 主な著書 / ■有明海の生きものたち 干潟・河口域の生物多様性 (佐藤正典編)
■干潟の海に生きる魚たち 有明海の豊かさと危機 (日本魚類学会自然保護委員会編)